

# 日本トルクメニスタン経済委員会

## 第30回定時総会議案

- 第1号議案 令和5年度役員選任の件
- 第2号議案 令和4年度事業報告書
- 第3号議案 令和4年度収支計算書
- 第4号議案 令和5年度事業計画書
- 第5号議案 令和5年度収支予算書

令和5年(2023年)6月12日

## 第1号議案

# 日本トルクメニスタン経済委員会 令和5年度役員選任の件

任期満了後再任となる役員を選任。

会 長	都梅博之	伊藤忠商事(株)	代表取締役副社長執行役員 機械カンパニープレジデント(再任)
副会長	篠原徹也	三菱商事(株)	執行役員 コーポレート担当役員(CRO) (兼)地域戦略部長
副会長	徳田 憲	住友商事(株)	理事 グローバル戦略推進部長(再任)
副会長	宮崎佳基	丸紅(株)	地域総括部長(退任)
副会長	西川健史	双日(株)	執行役員 インフラ・ヘルスケア本部長
監 事	西谷和雄	日本商工会議所	理事・国際部長
顧 問	田中哲二	NPO中央アジア・コーカサス研究所	所長

## 第2号議案

# 日本トルクメニスタン経済委員会 令和4年度事業報告書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

## 1. 情報収集・提供

- (1)在日トルクメニスタン大使館より受領した「二国間経済交流を発展させる新しい方向性のリスト」を提供（令和4年(2022年)6月7日）
- (2)在日トルクメニスタン大使館より受領した「トルクメニスタンで実施が計画されているガス化学分野の投資プロジェクトリスト・概要情報」を提供(令和4年(2022年)11月1日)

## 2. 交流事業

- (1)グルバングルイ・ベルディムハメドフ前トルクメニスタン大統領/トルクメニスタン上院議会ハルク・マスラハティ議長(当時)歓迎懇談会開催

(令和4年(2022年)9月27日(火) 於:ホテル椿山荘)

令和4年9月27日の故安倍首相の国葬儀に参列するために訪日した、グルバングルイ・ベルディムハメドフ前トルクメニスタン大統領/トルクメニスタン上院議会ハルク・マスラハティ議長(当時)歓迎懇談会を開催した。

◇日 時: 令和4年(2022年)9月27日(火) 午前9:00～10:00

◇会 場: ホテル椿山荘東京 ホテル棟2階 バンブールーム

◇トルクメニスタン側

G.ベルディムハメドフ	トルクメニスタン前大統領 トルクメニスタン上院議会ハルク・マスラハティ議長
R.ジェプバロフ	トルクメニスタン国営対外経済関係銀行総裁
N.ニヤズリエフ	トルクメニスタン国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」総裁
D.フダイベルディエフ	トルクメニスタン産業家・企業家同盟総裁
A.バイラモフ	駐日トルクメニスタン特命全権大使
Sh.ドウルディリエフ	アハル州行政センター・ニュースマートシティ市長
D.サブロフ	トルクメニスタン航空庁長官
G.ベルディエヴァ	トルクメニスタン外務省アジア太平洋局二等書記官

◇経済委員会

都梅会長、篠原副会長、徳田副会長、宮崎副会長、西川副会長  
渡辺・川崎重工業専務執行役員、橘和・コマツ海外営業第一部部長  
鈴木・三興製鋼代表取締役社長、桜井・日揮グローバル執行役員  
原事務局長

◇政府関係機関

中里・国際協力機構 東・中央アジア部 部長

#### ◇トルコ企業

A.チャルック

チャルック・ホールディング会長

E.ウルジャック

ルネッサンスホールディング社長

(2)第14回合同会議開催（令和4年(2022年)12月22日(木)、於:ホテルニューオータニ）

日本側は都梅会長、篠原副会長、徳田副会長、宮崎副会長、杉浦経済産業省大臣官房審議官(通商戦略担当)をはじめ、会員企業、政府および政府系機関、商社、メーカー、銀行等より約80名が参加し、トルクメニスタン側は、メレドフ・トルクメニスタン日本経済委員会会長/副首相兼外相、バイラモフ・駐日トルクメニスタン大使、各省庁、国営企業、経済団体、教育機関の代表ら15名が参加した。

都梅会長とメレドフ副首相が基調報告を行ったのち、「経済関係発展に向けた取り組みの実例とプロジェクト提案」をテーマに双方の代表者が報告を行った。文書署名式では第14回合同会議議定書をはじめ、10件のビジネス案件の文書が署名された。合わせて、個別企業面談が行われた。

(3)日本中央アジア・ビジネスダイアログに協力

（主催:ロシアNIS貿易会、令和5年(2023年)2月21日(火)、於:品川プリンスホテル）

日本と中央アジア諸国とのビジネス振興を目的とした日本中央アジア・ビジネスダイアログに協力した。都梅会長がパネルディスカッションに参加した。

### 3. 会議の開催

(1)令和4年度第29回定時総会

（令和4年(2022年)6月13日(月)16:00～17:15 於:如水会館 松風の間）

(2)都梅会長とエリヤソフ・駐日トルクメニスタン大使がオンライン会議

令和4年(2022年)4月18日(月)、都梅会長とエリヤソフ・駐日トルクメニスタン大使がオンラインで会談し、第14回合同会議について話し合った。

### 4. 会員状況

入会 0社

退会 0社

会員数 11社(増減 ±0)

第3号議案

日本トルクメニスタン経済委員会  
令和4年度収支計算書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

単位:円

科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額(A)	令和4年度決算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,750,000	2,750,000	2,750,000	0	(1)
合同会議参加費	0	600,000	72,000	△ 528,000	(2)
諸会合費	0	600,000	125,000	△ 475,000	(3)
受取利息	24	0	17	17	
当期収入合計	2,750,024	3,950,000	2,947,017	△ 1,002,983	
支出の部					
事務局運営費	1,650,000	1,650,000	1,650,000	0	(4)
合同会議開催費	0	2,500,000	1,154,695	△ 1,345,305	(5)
諸会合費	289,928	825,000	1,636,607	811,607	(6)
通信費	0	5,000	0	△ 5,000	
交通費	168	5,000	0	△ 5,000	
雑費	62,519	2,000	3,080	1,080	(7)
当期支出合計	2,002,615	4,987,000	4,444,382	△ 542,618	
当期収支差額	747,409	(1,037,000)	(1,497,365)	△ 460,365	
前期繰越収支差額	1,046,165	1,793,574	1,793,574	0	
次期繰越収支差額	1,793,574	756,574	296,209	△ 460,365	

(注)

(1)の内訳:250,000円×11社=2,750,000円

(2)の内訳:第14回合同会議非会員からの参加登録料8,000円/人×9名

(3)の内訳:令和4年(2022年)9月27日、ベルディムハメドフ前大統領訪日時の個別商談会場費分担金

(4)の内訳:(1)2,750,000円×60%=1,650,000円

(5)の内訳:第14回合同会議開催費用 総額約3,450,000円 ロシアNIS貿易会からの補助約2,300,000円

(6)の内訳:総会開催費用および令和4年(2022年)9月27日、ベルディムハメドフ前大統領との懇談会開催費用

(7)の内訳:振込手数料

## 第4号議案

# 日本トルクメニスタン経済委員会 令和5年度事業計画書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

### 1. 情報収集・提供

トルクメニスタンの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供する。

### 2. 交流事業

- (1)講演会・セミナー・企業間交流等、日本とトルクメニスタンのビジネス交流の促進、および友好親善関係を促進する各種の行事を開催する。
- (2)第15回合同協議会の開催につき、トルクメニスタン日本経済委員会、駐日トルクメニスタン大使館と協議する。
- (3)トルクメニスタンに関するセミナーやビジネスイベント等(オンラインを含む)の主催あるいは開催に協力する。

### 3. 会議の開催

令和5年度第30回定時総会を開催

(令和5年(2023年)6月12日(月)16:00～17:15 於:如水会館 松風の間)

第5号議案

日本トルクメニスタン経済委員会  
令和5年度収支予算書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

単位:円

科目	令和4年度予算額(A)	令和4年度決算額	令和5年度予算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,750,000	2,750,000	2,750,000	0	(1)
合同会議参加費	600,000	72,000	0	△ 600,000	(2)
諸会合費	600,000	125,000	300,000	△ 300,000	(3)
受取利息	0	17	0	0	
当期収入合計	3,950,000	2,947,017	3,050,000	△ 900,000	
支出の部					
事務局運営費	1,650,000	1,650,000	1,925,000	275,000	(4)
合同会議開催費	2,500,000	1,154,695	0	△ 2,500,000	(5)
諸会合費	825,000	1,636,607	500,000	△ 325,000	(6)
通信費	5,000	0	5,000	0	
交通費	5,000	0	5,000	0	
雑費	2,000	3,080	2,000	0	(7)
当期支出合計	4,987,000	4,444,382	2,437,000	△ 2,550,000	
当期収支差額	(1,037,000)	(1,497,365)	613,000	1,650,000	
前期繰越収支差額	1,793,574	1,793,574	296,209	△ 1,497,365	
次期繰越収支差額	756,574	296,209	909,209	152,635	

(注)

(1)の内訳: 250,000円×11社=2,750,000円

(2)の内訳: 合同会議を開催する予定がないため計上なし。

(3)の内訳: 要人との懇親会費等 20,000円×15名×1回=300,000円

(4)の内訳: ロシアNIS貿易会に対する事務局運営費 年会費の60%から70%への変更にとまなう増額  
2,750,000円×70%=1,925,000円

(5)の内訳: 合同会議を開催する予定がないため計上なし。

(6)の内訳: 総会開催費用および要人との懇親会開催費用等

(7)の内訳: 振込手数料等